

「江内小学校の山田樂伝承活動の取組」

1. 学校名	出水市立江内小学校
2. 学年・人数	5 年生 14 人
3. 日時・場所	(1) 練習の日時・場所 令和 6 年 4 月から 9 月まで 計 26 回 江内小学校体育館等 (2) 発表の日時・場所 令和 6 年 9 月 15 日 小中合同運動会 江内中学校校庭
4. 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事、伝統工芸品について	(1) 名 称 江内山田樂（えうちやまだがく） (2) 由 来 山田樂は、約 350 年前、出水郷地頭の山田昌巖が武士の士気を鼓舞するためにつくった踊りとされている。出水地区の 4 校区で伝統芸能として継承されている。江内山田樂は、約 30 年前まで青年団が踊っていたが、青年団が衰退すると伝承活動も途絶えた。1995 年（平成 7 年）、江内中学校創立 50 周年記念に合わせ、山田樂保存会が結成され、伝承活動が再開された。 (3) 構成等 鐘・柴（鼓太鼓）・宮（大太鼓）の三つから構成され、鐘の先頭の親鐘が合図を送る。親鐘を先頭に柴と宮が練り歩き入場する。その後、3 列になり、正面を向き整列する。次に、鐘を内円、柴と宮で外円をつくり、二重の円で演舞する。最後、再び 3 列になり、正面を向き整列し一礼後、退場する。1～6 番からなり、出征から凱旋の形を太鼓踊りで表現している。
5. 文化財伝承・活用の取組において地域との連携や工夫した点等	学校と地域が連携協力しながら継承していくために、「ふるさと江内学」と題し、第 5 学年の総合的な学習の時間に 28 時間位置付け、保存会から指導を受けている。「江内竹灯り」や「紫尾神社豊年祭（R6 は雨天中止）」など、地域のイベント等で披露している。また、山田樂保存会総会に学校職員も出席するなど、地域と連携して伝承していけるようにしている。
6. 取組の様子（練習状況、発表の場等）	  山田樂総会 運動会で披露
7. 感想・意見 (参加児童生徒・保護者・保存会・教員等)	【児童】 ・ 伝承活動を通して、友達と協力することの大切さに気付いた。 ・ 最初は不安だったが、保存会の方や中学生が教えてくれたり、何回も練習したりすることで、運動会本番ではいい踊りができた。 【教員】 ・ 伝承活動を通して、仲間と協力することの大切さや、自分の目標に向かって粘り強くがんばり成長していくことの心地よさを味わわせることができた。